

「奈良県脱炭素戦略」の策定に係る環境計画策定部会（第2回） 議事概要

1. 開催日時：令和6年11月21日（木）14:00～15:00
2. 開催場所：奈良県庁本庁舎2階 第3会議室（Web会議との併用）
3. 出席委員
 - ・環境計画策定部会委員：6名
 - 増田部会長、小野田委員、阪元委員、谷委員、林委員、藤田委員
4. 議題：（1）奈良県脱炭素戦略の策定について
（2）その他
5. 議事概要

事務局より奈良県脱炭素戦略の策定について説明した後、審議が行われた。
主な質疑については以下のとおり。

小野田委員

- 第4編「リーディングプロジェクト」と第5編「分野別戦略体系」の相互の関係性がわかるようにするなど、「リーディングプロジェクト」の説明をもう少し丁寧に記載してほしい。
→ 整理してわかりやすく表現できるよう検討する（事務局）。

藤田委員

- 「脱炭素社会推進に関する国内外の動向」の「(1)世界の動き」に COP29 の内容等最新の情報を盛り込んでどうか。
→ 最新の情報を盛り込むよう検討する（事務局）。
- 環境省が展開する「デコ活」を踏まえた記述があればよいのでは。
→ 第5編「施策の概要」「(4)普及啓発」「①行動変容促進」においてデコ活を踏まえた内容としている（事務局）。

林委員

- 第5編「施策の概要」「(4)普及啓発」に子供向けの学びについてわかりやすく記載してほしい。
→ 書き方を工夫する（事務局）。

谷委員

- リーディングプロジェクトが選ばれた過程と他に候補となったプロジェクトがあれば教えてほしい。
→ 各部局の意見を集約し、よりチャレンジングなプロジェクトを選別した。食品ロス削減対策等が候補にあったが、それらの事業は分野別戦略体系の個別施策に位置づけた（事務局）。
- 第4編「リーディングプロジェクト」が戦略の柱となるような記載されているが、チャレンジングなプロジェクトをこの位置に記載することに違和感がある。
- 第5編「分野別戦略体系」「(5)CO2を「ためる」」において、「健全な森林の整備を評価するための指標」と「県産材の需要拡大を評価するための指標」を指標設定の趣旨としているが、森林及び県産材とその他の分野との連携関係（県産材の需要拡大とZEB・ZEH、J-クレジットとゼロカーボンツーリズム等）を追記するのはどうか。また、メインで使用する部屋のみを断熱改修する「ひと部屋断熱」など、ZEB・ZEHが困難な山間部でも簡単に実施できる施策を盛り込むのはどうか。
→ 事業例として記載することを検討する（事務局）。
- 「(5)CO2を「ためる」」において、意欲的な目標設定をしてほしい。目標値を設定した根拠がわかりにくい。
→ 森林の整備の目標値については、「森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」を基に設定している。令和7年度に当該指針が改定される予定で、それに合わせて目標値を見直す予定（事務局）。

藤田委員

- 参考資料として「用語の解説」を掲載している点は良いが、県民によりわかりやすく理解してもらうために、詳細な説明が必要な用語（木材の分類「A材」「B材」「C材」等）を解説に追加してはどうか。
→ 「用語の解説」を精査し、追加する（事務局）。

小野田委員

- 第4編「リーディングプロジェクト」「2. 再エネ主導型産業立地プロジェクト」に具体的な事業名が記載されており、当該事業のみを実施するのではないかという印象を受けるため、他のプロジェクトとの記載のバランスを考慮して表現してはどうか。
→ 記載内容を検討する（事務局）。